

(様式2)新規評価シート

農政部 農地整備課

事業名		県営農村地域防災減災事業(ため池補強)		路河川名等					
事業毎の通番		1	市町村名	東御市	箇所名(ふりがな)	四ツ京大池(よつきょうおおいけ)			
事業概要	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 本ため池は東御市御牧原の台地に位置し、水田に用水を供給するために明治4年(1871年)に築造された。 本地域は年間降水量が少ないため、ため池は貴重な用水供給源として重要な役割を果たしている。 東日本大震災のため池の被災を踏まえ、平成25年度に耐震性点検を実施したところ、耐震性を有していないことが判明した。 このため、地震時における下流の農地、民家への被害を未然に防止するため、耐震化整備を実施する。 							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等	土地改良法				
	関連する事業、計画等	第2期長野県食と農業農村振興計画-ウ安全で快適な農村環境の確保と防災・減災 第7次長野県土地改良長期計画-2安全で暮らしやすい農村づくり							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	防災受益 A=20.3ha かんがい面積 A=18.9ha							
	着手年度	平成27年度	事業期間	4箇年	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	1.75	国庫	その他	県債	一般財源	
	全体事業内容(主な工種)	ため池改修工 N=1箇所 (堤体改修 L=167m、洪水吐工 L=20.6m)			95,000	52,250	10,450	29,000	3,300
	年度事業内容(主な工種)	測量試験費 一式			8,000	4,400	880	2,000	720
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	災害防止効果 8,036千円(家屋3戸・県道86m・市道841m)						
		間接的効果(定量的・定性的)	作物生産効果 作物生産効果 6,980千円(水稲) 営農経費節減効果 営農経費節減効果 -539千円(水稲) 維持管理費節減効果 維持管理費節減効果 -842千円(ため池・用水路)						
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ○保全対象 人家戸数:3戸 ○保対対象 公共施設数:2箇所(県道、市道) ○保全対象 防災受益18.98ha(直接受益面積13.7ha、間接受益面積6.6ha) 					評価	B	
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> ○ため池依存度:100% ○ため池受益面積:18.9ha ○地域防災計画上の位置づけ:県・市の地域防災計画に位置付けされている。 					評価	A	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ○OB/C=1.75 ○事業期間:5年 ○工法等比較検討: H25耐震設計業務委託内で検討 					評価	A	
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ○危険度調査結果:要改修度A、堤体の安全率 $F_s=1.2$以下 ○過去の被災履歴:台風18号(H25)時に溢水被害 ○応急対策の実施状況:ドレーン(漏水対策)の設置。低水管理 					評価	A	
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> ○事業情報の共有:ため池管理者が現地調査に同行している。 ○地域の取り組み:四ツ京大池管理委員会から要望がある。 ○地域の合意形成:合意形成が図られている。 ○住民との協働:取水施設の取水方法について、管理者が参加して検討している。 					評価	A	
	部意見	災害発生時の下流域への被害が想定されることから、これを未然に防止するために、早急な対策工事が必要である。	行政改革課意見	堤体からの漏水が見られ、耐震調査で安全性が確保されないことが判明した。保全対象に人家、農地があることから、重要性、緊急性が認められる。	評価結果	○	総合評価	A	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図

平面図

【整備の必要性がわかる状況写真等】

堤体の漏水状況

改修断面

事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本ため池は、明治4年に築造され、140年以上が経過している。洪水吐、波除護岸等の部分的な改修は行われているが、堤体本体の改修は未了で近年、堤頂部の沈下による変形や堤体下流法尻からの漏水が著しい。また堤体下流法面が急勾配のため、堤体の安定性が不足するなど、早急な対策が必要となっている。		
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成22年度にため池危険度調査を行い、危険度の判定が高かったことに加え、平成25年度耐震性点検により耐震性が無いことが判明したため、施設管理者と現地調査を行い、その結果、改修を要望する判断が出された。		
③事業説明等の経緯	施設管理者に対して、現地調査や説明会を行い、事業推進について合意を図ってきた。今後、地域住民等を対象に説明会を実施して事業の理解を深めていきたい。		
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	環境エネルギー自立地域創造プロジェクト ため池耐震化緊急対策事業		
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	本地区は、御牧原にあるため池群の中でも規模の大きなため池で、この池に支障が生じた場合、ここから連結されるため池にも影響を及ぼすことから周辺一帯の営農に支障が及ぶこととなる。		
⑥地域活性化への影響と配慮	本ため池は、小諸市、佐久市の境界に近く、周辺では観光農園等が行われていることから、観光資源として有効活用が見込める地域である。		
⑦その他	特になし		
		事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36度17分41秒 東経:E 138度22分36秒